

タコノ葉採集に行ってきました。

9月18日（金）、6年生は総合的な学習の時間「タコノ葉細工に親しもう」の一環として、タコノ葉採集に出かけました。

まず、ローズ記念館でタコノ葉細工の歴史について学びました。戦前のものも、しっかりと作られたものは今日まで残っていることに驚いている様子でした。



次に、タコノ葉採集です。タコノ葉を採る際に気を付けることは、傷が無く、なるべく太く長いものを根元から切り取るということです。また、トゲが手や腕に刺さらないようにも注意しました。

今年の6年生たちは運がよかったようです。よい状態のタコノ葉をたくさん見つけることができました。また、ちょうどフローラの方たちがタコノ木の伐採をしており、そこから葉をいただくこともできました。ありがとうございました。最終的にタコノ葉を約220枚集めることができました。例年より少し多めでしたが、それでも予定より早く採り終わり、子供たちには達成感が満ちていました。

その後、ローズ記念館に戻り、タコノ葉を窯で煮る作業を行います。これが、なかなか大変な作業です。煮る前に、タコノ葉のトゲを取り除かなくてはなりません。ピーラーやカッターナイフを使い、丁寧にトゲを取り除きます。トゲを取り除いた後は、10枚ごとにまとめ、窯で約50分間煮ます。お弁当を食べながらも火はこまめにチェックします。

午後は、この日最後の工程です。煮終えたタコノ葉の水分をタオルで拭きとります。さらにその後、タコノ葉を丸めます。丸める際は、タコノ葉のカーブが内側に向くように丸める必要があります。これを220枚分丁寧にいきます。終わるころには、さすがの6年生たちもへとへとの様子でした。

水分を取り、丸めたタコノ葉は毎日学校で乾燥しています。毎朝屋外に出し、放課後は片付ける、雨が降ってきたらすぐに取り込む等、タコノ葉細工はとても手間暇をかけて作られている伝統工芸だということを子供たちは実感しながら体験しています。作品が完成したときの喜ぶ顔が楽しみです。

